

ステッキに使用される主な銘木一覧

名称	主な産地	特徴
スネークウッド	南米	幹の太さは直径20センチ位までしか太くならず、硬く加工は困難ですが、磨くと蛇の鱗の様な模様が現れるのが名前の由来です。 ステッキ材では最も高価で、そのステッキは最高級品とされます。
パウサンドウッド	南米	現地では『神の木』とも呼ばれ、古くから貴重なものとされています。 加工直後は薄茶や鶯色ですが、そこから経年で漆黒、または緑色へと変化します。 非常に重い木材としても知られています。
マラッカ籐	インドネシア	熱帯地方の森林に自生し、幹に枝はなく節は竹に似ています。 非常に軽く、一節の間が長いものほど良いものとされ、120センチ以上のものは非常に少ない稀少材です。
黒檀	東南アジア	高級唐木の代表格。深黒色で、高級家具などの材料として使用されています。 材質が硬く加工は非常に困難であるが、出来上がった製品は綺麗な木目が特徴です。
紫檀	東南アジア	黒檀同様、高級唐木の代表格。 材質は硬く、色は薄い褐色から紫色なものまで多彩です。
鉄刀木 (タガヤサン)	東南アジア	材質には黒と紫の2種類があります。 非常に硬く加工は困難ですが、磨かれた製品の杳目は大変美しく、また黒から茶のものは本タガヤサンと呼ばれ、これは黒檀・紫檀共に三銘木と呼ばれています。
かりん	東南アジア	高さ20メートル、直径1.5メートルに達する落葉樹で、赤褐色をしています。 紫檀系の樹木ですが、紫檀より木目は粗くなっています。
ボコーテ	中南米	別名：黄金檀とも呼ばれ、黄色地に黒の縞模様は、木材の中でも珍しい杳目とされています。 その堅牢さから、古くより家具・仏壇素材として重宝されています。
ウォールナッツ	欧州	クルミ科の広葉樹で、木目が美しい為、古くから高級家具材に使用されています。 また、衝撃に強いことから銃床部材としても重用されています。
ヘーゼルナッツ	イタリア	カバノキ科セイヨウハシバミの落葉低木。 英国では古くからステッキ材の他、釣竿、柵材などにも用いられ、住宅を落雷から守る、不思議な力があると伝えられています。
チェストナッツ	欧州	栗の木を英語名でこう呼びます。 木質にはタンニンを多く含み、腐りにくく、虫害に強い特性を持つ為、古くから住宅の柱材、鉄道の枕木などに使用されています。
ジネストラ	イタリア	マメ科低木のイタリア語名で、英名：ブルームウッド、共に『箒(ほうき)』を意味する名前です。 古来ヨーロッパでは、魔女がこの木で作った箒に跨り、空を飛んだという伝説があります。
パープルハート	ブラジル	別名：バイオレットウッド。 マメ科の広葉樹で、伐採直後の心材は褐色ですが、大気に晒されるうちに紫色へと変化します。 織物用の染料が採取されることでも知られています。
サントス ローズウッド	ブラジル	マメ科の広葉樹で、その心材には木目に沿って褐色の縞を持ちます。 木質は重厚ですが木肌は美しく、耐久性があるため、ギターや家具などに使用されます。
リグナムバイタ	中南米	ハマビシ科の広葉樹。 摩擦によって『ギャック』と呼ばれる樹脂を出す特性から、シャフト材などに使用されていました。 経年で深緑色に変化する珍しい木材で、日本では『緑檀』とも呼ばれています。
キルテッド メイプル	カナダ・北米	キルテッド(鱗状)と呼ばれる、美しい独特の杳目を持つカエデ類の総称です。 軽くて加工しやすいのが特徴で、高級ギターの木材としても有名。